

なぜ泣いているのか

～心の時代の福音～

2023/4/9

イースター礼拝

ヨハネ福音書20章11～18節

マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中を見ると、イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。天使たちが、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。イエスは言われた。「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」

マリアは、園丁だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのであれば、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。イエスは言われた。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る』と。」マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。

これまでのいきさつ

- **十字架刑により殺されたイエス様**
 - 金曜日の午後3時に絶命し、その日の日没までに墓に納められた(安息日前に)
- **墓に行ったマグダラのマリア**
 - 日曜日の早朝「まだ暗いうちに」遺体に香油を塗るために墓に行くが、入り口の石が取りのけられていた
- **イエス様の遺体がなくなっていた！**
 - マリアが弟子たちにそのことを告げると、ペトロとヨハネが駆けつけた
 - 遺体を包んでいた亜麻布だけが残されていた！

これまでのいきさつ

- **十字架刑により殺されたイエス**
 - 金曜日の午後3時に絶命し、そこに納められた(安息日前に)
- **墓に行ったマグダラのマリア**
 - 日曜日の早朝「まだ暗いうちに」遺体に香油を塗るために墓に行くが、入り口の石が取りのけられていた
- **イエス様の遺体がなくなっていた！**
 - マリアが弟子たちにそのことを告げると、ペトロとヨハネが駆けつけた
 - 遺体を包んでいた亜麻布だけが残されていた！

金曜日の日没
から土曜日の日
没までが安息日

墓

マグダラのマリアについて

「悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア、ヘロデの家令クザの妻ヨハナ、それにスサンナ、そのほか多くの婦人たちも一緒であった。彼女たちは、自分の持ち物を出し合って、一行に奉仕していた。」

〈ルカ福音書8:2-3〉

- 「七つの悪霊」を追い出していただいた
- 他の女性たちと共にイエス様一行に「自分の持ち物を出し合って」奉仕していた
- 遊女であったという説には根拠がない

マグダラのマリアについて

「悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、悪霊を追い出していただいたマグダラのマリア、ヘロデの家令クザの妻、そして、そのほか多くの婦人たちは、自分たちの持ち物を出し合っていた。」
ルカ福音書8:2-3

そうとう重症の
病気であった
イエス様は
命の恩人！

- 「七つの悪霊」を追い出していただいた
- 他の女性たちと共にイエス様一行に「自分の持ち物を出し合って」奉仕していた
- 遊女であったという説には根拠がない

イエス様の死をそばで目撃した

• 十字架のそばにいた

- 「イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。」ヨハネ福音書19:25

• 墓に納められる所を見ていた

- 「ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。」マタイ福音書27:60-61



泣いていたマグダラのマリア

• 空っぽの墓の外で泣いていたマリア

- 弟子たちが去った後「マリアは墓の外に立って泣いていた。」

• 墓の中にいた天使たち

- 「イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。」

• 天使との会話

- 天使:「婦人よ、なぜ泣いているのか」
- マリア:「わたしの主が取り去られました。どこに置かれているのか、わたしには分かりません。」

イエス様だと気づかないマリア

• マリアの後ろに立たれたイエス様

- 「こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。」

• マリアに話しかけられるイエス様

- 「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」

• 園丁だと思い、詰め寄るマリア

- 「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。わたしが、あの方を引き取ります。」

イエス様だと気づかないマリア

• マリアの後ろに立たれたイエス様

- 「こう言いながら後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。」

• マリアに話しかけられるイエス様

- 「婦人よ、なぜ泣いておられるのか。」

• 園丁だと思い、詰め

- 「あなたがあの方を運ぶのに置いたのか教えてください。わたしは、あの方を引き取ります。」

涙で目が曇っていた
姿を見ていない
まさかイエス様がお
られるとは思えない

イエス様だと気づくマリア

•名前を呼ばれて気づいたマリア

- 「イエスが、『マリア』と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、『ラボニ』と言った。『先生』という意味である。」

- 自分の名前を呼ばれて気が付いた

- 「ラボニ」はアラム語:いつもそう呼んでいた

•マリアをたしなめられたイエス様

- 「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。」

- マリアはイエス様にすがりつこうとした

イエス様の復活の意味

- 本来、死は罪の結果である

- 「罪が支払う報酬は死です。」ローマ6:23

- イエス様は私たちの身代わりに罪の罰を受けて下さった

- 「十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」ペトロ2:24

- 復活は罪が赦されたことの証拠である

- 「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。」ローマ4:25

イエス様の復活の意味

- 本来、死は罪の結果である

- 「罪が支払う報酬は死です。」ローマ6:23

- イエス様は私たちの罪を背負って下さった

- 「十字架にかかって、**自分の罪を担って下さいました。**」ペテロ前書2:24

イエス様ご自身がその第一号と
なられた

- 復活は罪が赦されたことの証拠である

- 「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、**私たちが義と認められるために、よみがえられた**からです。」ローマ4:25

「なぜ泣いているのか？」

- 大切な人を失い、亡骸(なきがら)にさえすがろうとしたマリア
 - 遺骨は立派な信仰対象となる(仏舎利塔)
- イエス様の質問の意図は？
 - 「婦人よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか。」: ジョーク? 怒り?
- 死は終わりではなく新しい命の始まりである
 - 人類が決して乗り越えられない「死の悲しみ」をイエス様の復活は解決した!

悲しいとなぜ涙がでるのか？

•涙の種類

- 眼球を潤している涙
- 刺激から守る涙(タマネギを切るとき)
- 感情による涙

•涙の味の違い

- 悔しい時・怒っている時は辛い(交感神経)
- 悲しいとき・嬉しいときは甘い(副交感神経)

•癒やしの涙

- 「プロラクチン」という癒やしのホルモンが含まれている！

イエス様の復活が与えた希望！

•世界に溢れる死の悲しみ

- 伝染病・戦争・自然災害・飢餓…
- もし死で終わるなら、この世界に希望はない
- 亡骸(なきがら)にすぎるしかない

•復活のない世界は死の世界である

- 武力(死)によって支配する世界

•イエス様は今も、あなたの名前を呼び、「なぜ泣いているのか」と問いかけられる

- 神はあなたの涙をご存じである
- そして**復活の希望**に生きなさい、と言われる

イエスは言われた。

「婦人よ、なぜ泣いているのか。

だれを捜しているのか。」





主は今 生きておられる

わが^{うち}内におられる

すべては 主の^{みて}御手にあり

^{あす}明日も生きよう 主がおられる

主は今生きておられる



Happy
Easter

